

# 立教大学日本文学 第109号 2013年1月

## 加藤定彦教授 定年退職記念号

### 目 次

---

加藤定彦先生を送る／沖森卓也	2
エッセイ 加藤定彦さんのこと／渡辺憲司	4
加藤定彦教授 自筆略譜及び主要研究業績／7	

---

北毛俳壇の展開と月次句合（上） ——左部家旧蔵資料の語るもの（その3）——／加藤定彦	22
芭蕉自筆卷子本『野ざらし』随想／宇都宮 讓	40
立圃「三十六禽十八番発句合」紹介と翻刻／倉島利仁	52
湖十系点印付嘱の諸問題 ——〈其角正統〉という演出——／稲葉有祐	60
《翻刻》『画口合相撲 地巻』（その一・全三回）／中島穂高	74
立教大学所蔵 江戸川乱歩旧蔵『若衆物語』（明暦三年板） ——書誌・翻刻・挿絵／安原眞琴	81
賀茂真淵自筆草稿『西かへり』の解題と翻刻／高松亮太	92
二代目市川團十郎と劇場経営 ——享保十九年の江戸歌舞伎——／ビュールク・トーヴェ	104
文明開化と長唄 ——「靱猿」を中心に／細谷朋子	118
長崎人、福地桜痴の上京 ——苟庵の書簡から——／丹羽みさと	131
郷里における毛谷村六助と論介 ——福岡県郷土紙「かみつの」をめぐる／岩谷めぐみ	143

---

『源氏物語』の和歌を読む（六）／加藤 睦	151
「いなかたち」考 ——「虫めづる姫君」の難語の解釈——／櫻井靖久	163
海幸山幸の中世神話考 ——絵巻『かみよ物語』を中心に——／金 英珠	170
佐藤春夫と一九一〇年代（二） ——ニーチェ・鷗外・大石誠之助との関わりをめぐる——／石崎 等	185
科学の時代と文学 ——大正から昭和へ——／城所弘実	197
江戸川乱歩と手塚治虫 ——戦後〈科学〉表象の一側面——／栗田 卓	209

---

書評 石川巧著『高度経済成長期の文学』／瀧田 浩	227
新刊紹介	231

---

彙報・編集後記	234
---------	-----